

1. 件名：「日本原燃(株)再処理施設及びMOX施設の新規制基準適合性に関する面談」

2. 日時：令和3年5月25日(火) 13時30分～14時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋管理官補佐、中川上席安全審査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、大岡安全審査専門職、武田安全審査専門職、森野安全審査専門職、清水係員

専門検査部門

大東首席原子力専門検査官、舘内主任原子力専門検査官

日本原燃(株)

村野 理事 再処理事業部副事業部長 他20名

東京電力ホールディングス(株) サイクル技術グループ

グループマネージャー 他1名

関西電力(株) 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー 他1名

中部電力(株) 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

北海道電力(株) 原子力事業統括部 原子燃料サイクルグループ 担当

5. 要旨

- ・本日実施した審査会合に関して、審査会合で指摘した事項に対する事業者の理解の確認とそれに対する対応方針を確認した。
- ・事業者から、原子力規制庁の指摘事項について、使用前事業者検査の実施方針に関しては、検査記録が一部不足している機器について何が不足しているのか明確にし、技術基準適合性等の確認方法を具体的に説明すること、地盤モデル及び隣接建屋影響に関しては、解析内容を整理して説明すること、航空機墜落火災対策に関しては、論点が少なくなるように設計の基本的な考え方を整理し、効率的に審査が進むよう設計の全体像を整理して説明すること等の指摘事項を十分に理解したとの説明があった。また、これら指摘に対する回答時期については別途連絡するとの説

明があった。

6. その他
なし